

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山、野田、松下、松井、坂口、原田、桐原、田中、山本、千賀

2. 山城／ルート 六甲・芦屋 RG 地獄谷 アイゼントレーニング

3. 交通手段 電車

4. 行動記録

<入山日 2014年4月20日>

芦屋川駅 9:00ー地獄谷入口 9:30ーピラーロック 11:30 昼食、トレーニング 13:00ー地獄谷入口 14:30ー芦屋川駅 15:00

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

- ・地獄谷から荒地山、風吹岩の予定であったが雨が降ってきたのでピラーロックでトレーニング後地獄谷を下山する。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

- ・地獄谷下山途中(13:30)、下からだど 5つ目の小さな滝の下の平坦な所でNさんが 20cm ほどの石の上でアイゼンが滑り沢に横転した。(体が1回転して水につかる) 幸いザックがクッションになり怪我は無かった。頭も軽く岩に当たったがヘルメットを装着していたので事無きを得た。その後その場で一息入れて再び下降再開した。

(原因)

- ・アイゼンに乗せた石がつるつるであり滑り易かった。
- ・地獄谷をアイゼン装着で下降してきたので少々疲れていた。
- ・練習用のアイゼンであり爪が丸くなって滑りやすい状態であった。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

- ・滑りやすい石の上には乗らないことを申し合わせた。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・今回はアイゼン初心者はいなかったのであえて練習のため地獄谷を下降したが、初心者がいる場合は避けた方が良い。
- ・春山直前であり、アイゼントレは一般道は歩けないので地獄谷に多くの登山者が集中していた。今後別のトレーニング場所も検討必要。

・

・

報告者氏名 南山 房啓 2014年 4月 21日